

麻里布中学校区 小中一貫教育の取組

麻里布地域小中一貫教育グランドデザイン

山口県の教育目標 未来を拓く、たくましい「やまぐちっ子」の育成

麻里布地域小中一貫教育目標 心るさを愛し、自ら学ぶ、たくましい児童生徒の育成

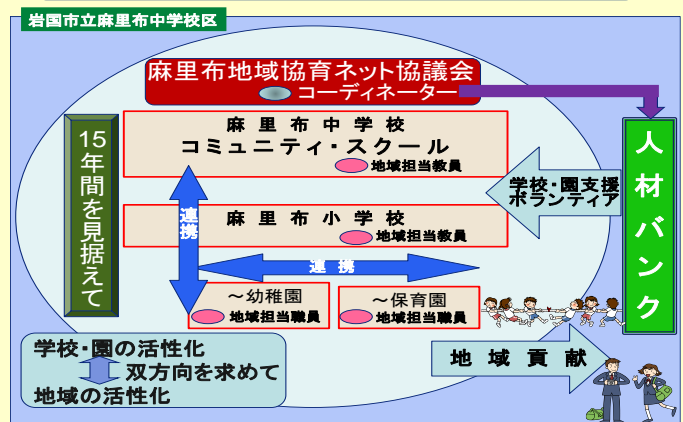
岩国市の基本目標 志高く、夢がなると生き抜く力をはくむ

めざす15歳像
◎仲間と認め合い、磨き合う人 ◎正しく判断し、行動する人 ◎自分を見つめ直し、高める人

麻里布小学校の取り組み	学力向上部会	麻里布中学校の取り組み	心と体の教育部会	麻里布中学校の取り組み	キャリア教育部会
学校教育目標 主体的に学ぶが本姿を切り拓く、たくましい「麻里布っ子」の育成 目標 ○豊かな学力の育成に向けた授業改善 ・主体的・協力的で深い学びの場づくりの学習・指導方法の改善の推進 ・個別の学力のスタンダードを活用した全校体制による、学習態度・学習意欲の醸成 ○豊かな心の育成 ・広大な自然環境による、チャレンジ目標の達成及び生活態度の醸成 ・司書教諭や読書活動推進員と学校担任との連携による、読書活動の充実 ・「専ら、感動する」温かい授業の推進 ○コミュニティ・スクールの推進 ・地域の特色を生かした教育活動の推進 ・小中学校が一体となった教育活動の推進 ○小中一貫教育の推進 ・小中学校の協働による、読書の交流促進 ・小中一貫カリキュラムの連携及び改善	○学力向上部会 ○心と体の教育部会 ○キャリア教育部会	学校教育目標 主体的に学ぶが本姿を切り拓く、たくましい「麻里布っ子」の育成 目標 ○豊かな学力の育成に向けた授業改善 ・主体的・協力的で深い学びの場づくりの学習・指導方法の改善の推進 ・個別の学力のスタンダードを活用した全校体制による、学習態度・学習意欲の醸成 ○豊かな心の育成 ・広大な自然環境による、チャレンジ目標の達成及び生活態度の醸成 ・司書教諭や読書活動推進員と学校担任との連携による、読書活動の充実 ・「専ら、感動する」温かい授業の推進 ○コミュニティ・スクールの推進 ・地域の特色を生かした教育活動の推進 ・小中学校が一体となった教育活動の推進 ○小中一貫教育の推進 ・小中学校の協働による、読書の交流促進 ・小中一貫カリキュラムの連携及び改善	○心と体の教育部会 ○キャリア教育部会	学校教育目標 主体的に学ぶが本姿を切り拓く、たくましい「麻里布っ子」の育成 目標 ○豊かな学力の育成に向けた授業改善 ・主体的・協力的で深い学びの場づくりの学習・指導方法の改善の推進 ・個別の学力のスタンダードを活用した全校体制による、学習態度・学習意欲の醸成 ○豊かな心の育成 ・広大な自然環境による、チャレンジ目標の達成及び生活態度の醸成 ・司書教諭や読書活動推進員と学校担任との連携による、読書活動の充実 ・「専ら、感動する」温かい授業の推進 ○コミュニティ・スクールの推進 ・地域の特色を生かした教育活動の推進 ・小中学校が一体となった教育活動の推進 ○小中一貫教育の推進 ・小中学校の協働による、読書の交流促進 ・小中一貫カリキュラムの連携及び改善	○キャリア教育部会

麻里布地域教育ネット共通テーマ
 ○気持ちのよいあいさつができる子
 ○美しい環境づくりに努める子
 ○意欲的に自ら学び続ける子

小中一貫教育を支える地域協育ネットの仕組み



学校運営

学校支援

地域貢献



麻里布中学校区では「地域とともにある学校」をめざしています



麻里布地域協育ネット協議会で、麻里布小・中学校共通の課題である「スマートフォン・タブレット型端末の使い方」について、熟議を行い、提言としてまとめました。

協育ネット協議会からの提言



協議会委員による熟議

- 家庭では・・・**
- 機器を購入する前に機器の必要性について、保護者でもう一度考えてみましょう。
 - 「家族で一緒に使う」「使う時間を決める」など、家族でルールを決めましょう。
- 学校では・・・**
- 適切な使い方や長時間使用の影響について、具体的に子どもや保護者に伝えましょう。
 - 児童生徒が考えた決まりを家庭に示すなど、家庭と連携して取り組みましょう。
 - OPTAや育友会が中心となり親同士の現状把握と啓蒙活動に取り組みましょう。
- 地域では・・・**
- スマホ等に関わる学校や家庭での取組を地域全体での取組に広めましょう。
 - 地域の宝麻里布っ子を地域全体で見守り育みましょう。

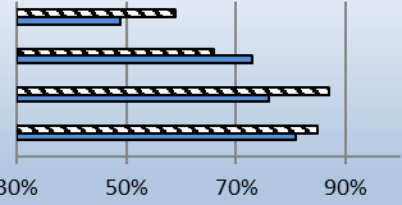
成果と課題

学校は小中一貫教育のねらいや様子を分かりやすく伝えている

PTA活動は、活発で充実している

地域の人が、学校の教育活動を支援している

学校は、学校の取組や子どもの様子を地域や保護者に発信している



令和元年度麻里布小学校 学校評価アンケートより(6月実施) □教員 □保護者

麻里布小中学校は施設分離型小中一貫校として、指導支援の確立と児童生徒の交流の促進による9年間の一貫した学習や活動が行えるよう、研究・施行を進めています。

現在、コミュニティ・スクールや地域協育ネットの仕組みを生かし、小中学校それぞれの取組の深化・充実や教育課程の編成・指導形態の工夫・改善に向けて両校教職員が一緒に研究を進めています。

小中一貫教育のねらいや取組の保護者や地域住民への周知に課題があります。学校だよりなどを通して情報の発信し、周知を図ります。

